

「^{えがお}笑顔」の^{ちから}力

副校長 齊藤 哲之

あれだけ暑かった夏がいつの間に過ぎ去り、本格的な秋へと季節が移り替わってきました。木々の色合いも赤や黄色に色づき、見る人の目を楽しませてくれています。

先日10月22日(土)に本校の第43回運動会が開催されました。曇り空の下、少し肌寒い陽気でありましたが、本番を迎えこれまでの練習の成果を十二分に発揮した子どもたちの姿を見ることができました。保護者の皆様には、今年度もコロナ禍ということで各家庭2名までという制限の中での参観となりましたがたくさんの応援ありがとうございました。



保護者の皆様が見つめる先には、たくさんの子どもの笑顔が見られたことと思います。子どもたちの笑顔を見ると、見ている私たちにも力を与えてくれます。笑顔にはそれだけ周りの人の気持ちを幸せにする力があるのだと思います。

6年生の国語の教材の中に「笑うから楽しい」という説明文があります。楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいとはどのようなことなのでしょう。私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係していて、「楽しいから笑う」ように心の動きが体の動きに表れます。しかし、体を動かすことで心も動かすことができるのです。つまり、泣くと悲しくなったり、笑うと楽しくなったりするということです。そして、それは科学的に証明されていると書かれています。

コロナ禍で制限を強いられている状況はまだまだ続くかもしれません。いつも楽しいことばかりではなく、大変なことやつらいこともあります。でも、子どもたちの笑顔からたくさんの力をもらえるように、我々大人にも同じような力があるのだと思います。笑顔の力を信じて、まずは自分から笑顔でありたいと思っています。

『笑う門には福来る』 どんなどきも笑顔と希望を忘れず、学校でも家庭でも地域でも子どもたちの笑顔がたくさん見られるように、これからも学び合い、支え合い、高め合うことを大事に学校の教育活動を進めていきたいと思っています。